



塾生さん、いま何してる？



▼年も明け二〇二二年。塾生の千龍さんの研修も二年目を終えようとしています。

現在、研修の一環としてオケクラフトの生みの親である、秋岡芳夫さんと関係の深い「モノモノ」や「目黒区美術館」を訪れ、学びを深めている最中。コロナ禍での研修となった二年間、予定されていた研修を思うように実施することができずにいた千龍さんですが、その分、自身の作品づくりへと時間を割くことが出来たのではないかと思います。来月号では、この道外研修について、千龍さんの思いとともにお伝えしたいと思います。

さて、先月十七日までをべ切りとしていた「オケクラフト作り手養成塾」の塾生募集ですが、随時募集をすることとなりました。なかなかモノづくりの道へと進むイメージは浮かびづらいかもしれませんが、少しでも興味がありましたら、どんな些細な質問でも構いません。ご連絡をお待ちしています。

【職人仕事を支える道具】

高品質な化学塗料が数多く登場してもなお、最も品質が高いとされるのが自然から生まれる「漆」です。ウルシノキの樹液から作られる漆は、自然塗料・化学塗料の中でも高い品質を誇ります。

その漆を扱い、塗る職人を「塗師（ぬし）」といいます。塗師が使用する道具は特殊で、漆を塗るために使用される刷毛を「漆刷毛（うるしはけ）」、そしてそれらを手

入れする道具に「塗師刀（ぬしとう）」と呼ばれる刃物があります。

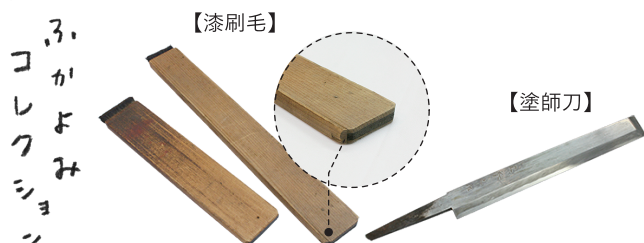
【漆刷毛 - うるしはけ】

塗りの良否を左右する重要な道具。「通し刷毛」とも言われ、毛束を鉛筆のように削り出して使用する。材質には主に人の毛髪が使用される。

【塗師刀 - ぬしとう】

漆ヘラや漆刷毛を削り整えるのに使う。

今日は何を知ろうか



今月の一品

かくれた一品 おすすめの一品
毎日 オケクラフトとともにいる
私たちの一品をご紹介します！



商品名：まめ皿
サイズ：直径 90mm
高さ 30mm
価格：1,430 円（税込）
樹種：エゾマツ、サクラ、クルミ、カエデ、ナラなど 10 種類以上

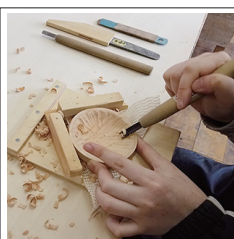
今回ご紹介するのは、【まめ皿】（木工房の定番品）です。直径 9cm の小さなお皿ですが、お酒のおつまみ・ごはんのお供・スイーツ・文房具・アクセサリーなど、さまざまな用途で活躍します。魅力的な器で、お手頃価格なのも嬉しいですね。使用する樹種は十種類以上。いろんな木目、楽しみなせんか？

ショップ販売員
青木



① 墨付けをしよう

鉛筆を固定し材料を回しながら描くときれいな円になるよ



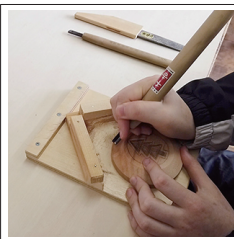
② 内側を削ろう

外側から中央に向かって、少しずつ削っていくよ



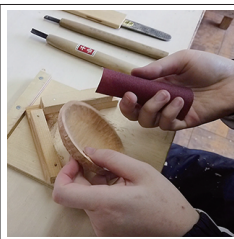
③ 裏の墨付けをしよう

内側と同じように、外側にも墨付けするよ



④ 裏を削ろう

中から外へ向かうイメージで外側は削っていくよ



⑤ 仕上げよう

削り終わったら、紙ヤスリで表面をととのえよう！



紙ヤスリをかけたら完成！そのままでも使えるけれど、ミツロウやオイルを塗ると、表面の保護にもなり、長く使うことが出来るよ！

モクモクさん
今月のモノづくりはなんですか？

手道具でつくる
【まめ皿】を作ってみよう！

今月は！

今回は、木あそび展の人気メニュー「まめ皿」作りを紹介するよ！



キホンノキ



丸刀と平刀、二種類の彫刻刀を使うよ！
材料は板材からでも作れるよ。柔らかく、木目がまっすぐなものの方が削りやすい！

道具と材料を
確認しよう！